

vol.



川越ロータリークラブ会報

■ 発行 川越ロータリークラブ

2022年5月24日 第 3384 回例会



Go! One Step Further! もう一歩踏み出そう! 2021-22年度 ケラブ会長 小髙章





■ 事務局 350-8501 埼玉県川越市新富町 1-22 川越プリンスホテル 3F TEL: 049-224-5100 FAX: 049-223-3366 www.kawagoe-rc.org kawag-rc@violin.ocn.ne.jp

プログラム

点鐘 (12:30) /ロータリーソング (それでこそロータリー・四つのテスト) /ビジター・卓 話講師紹介/会長の時間/幹事報告/委員長報告/ニコニコボックス/出席報告/卓話/ク ラブ協議会/点鐘 (14:15) <司会: 須賀 昭夫 副 SAA>

出席者 56名 早退 出席率 3名

会長の時間

2021-22年度 会長

小髙 章

〈ビジター・卓話講師紹介〉

中島 洋志:地区青少年奉仕委員会統括委員長 中村 幹也:地区青少年奉仕委員会アクト・

ライラ委員会委員長

中島 萌栞: インターアクター OG



〈会長あいさつ〉

皆さんこんにちは。規定審議会の件につきましては、6 月 14 日の卓話の時間に地区規定審議会代表委員の高柳パ ストガバナーがお見えになられますので、そこでお話をさ せていただきます。本日は例会終了後、クラブ協議会を予 定しています。皆さん、お読みになられたとは思いますが、 現在、次年度に向けての地区で色々な課題・問題が起きて おりますので、クラブ協議会で皆様のご意見を賜りたいと いう趣旨で開催いたします。よろしくお願いいたします。

幹事報告

2021-22年度 幹事

吉澤 徳安

● 配布物:会報 vol.35/川越 100 年と「大 地の園」講演とコンサートのご案内



委員長報告

親睦委員会

【親睦ゴルフの報告】

五十嵐 昭洋 委員

5月19日(木)に、川越ロータリークラ ブ親睦ゴルフ大会が行われました。多くのご 参加をいただきありがとうございます。私、

五十嵐が優勝をさせていただきました。 今回のゴルフは"四つのテスト"に当ては まるなと感じました。①真実かどうか?私、

スコアは嘘偽りなく報告しています。②みんなに公平か?去年、 私は 148 叩きました。そんな私でも優勝できる。③好意と友 情を深めるか?ゴルフ後、親睦の炉辺会合が行われ、親睦を 深めることができました。④みんなのためになるかどうか?是 非、ゴルフをやったことが無い方も、優勝できるチャンスが ありますので、次回は是非ご参加いただければと思います。



例会報告 会場:川越プリンスホテル5階

免除 出席者 98名 3名

正会員 出席者 53名

58.95%

5月のお祝い

親睦委員会

五十嵐 昭洋 委員

<会員誕生日>

立原 雅夫/小原 祥三郎/藤倉 省一/鈴木 健二/山田 哲也 /渡辺 幸紀/薮 正浩/木澤 薫(敬称略)

< 配偶者誕生日 >

小杉 國武夫人 保子/小原 祥三郎夫人 恵子/橋本 定寛夫人 浩代/藤田 龍一夫人 真美/廣澤 光昭夫人 恵美子/山口 滝 太夫人 聖子/蓼沼 光夫夫人 ひろみ/中田 庸司夫人 美有紀 /木澤 薫夫人 舞(敬称略)

< 結婚記念日>

原 敏成/髙口 邦輔/小髙 章/長谷川 均/中野 英幸/吉澤 徳安/京野 弘一/五十嵐 昭洋/芳野 忠司(敬称略)

次週卓話紹介

2021-22年度 幹事

吉澤 徳安

次年度は青少年奉仕委員会が名称を変更しまして、こど も家庭委員会という形になります。この委員会は、片親の お子さんですとか、学校生活や家庭生活に障害のあるお子 さんたちのために、ロータリーで何かできないかというこ とで、こども家庭委員会ができます。その委員長に、東松 山 RC の山口幹事が就任されました。次回は、こども問題 につきまして、我々にとっても身近に起きていることでご ざいますので、お話をしていただこうと思っております。 是非、ご参加のほどよろしくお願いします。

ニコニコボックス

ニコニコボックス委員会

洞井 信彦 委員

●地区青少年奉仕委員会統轄委員長中島 洋志 さん。本日の卓話宜しくお願いします。<会 長/幹事> ●インターアクター OG の中島 萌栞さん、ようこそ川越 RC へ。卓話宜しく お願いします。<会長/幹事> ●地区のアク ト・ライラ委員長の中村さん、ようこそ川越



RCへ。楽しんで行って下さい。<会長/幹事> ●メークアッ プよろしくお願いします。<地区アクト・ライラ委員長中村 幹 也> ●第2570地区青少年奉仕委員会統轄委員長中島洋 志様、インターアクター OG 中島萌栞様、本日の卓話よろし

くお願い致します。<齊藤(智)/鈴木(壮)/長島/水村 /山田(和)/青柳/西澤/馬場(常)/坂口/野溝/石 井(成)> ●地区アクト・ライラ委員長の中村様ようこそ 川越 RC へお越しいただきました。<坂口/石井/藤井/島 村/和田> ●先日のゴルフ大会で優勝させて頂きました。 常に熱くご指導いただいた坂口さん、蓼沼さん、石川さん に感謝です。<五十嵐> ●先日はブービーメーカー賞を頂 き誠にありがとうございました。<須賀> ●諸用により本 日例会を欠席いたします。明日の25日が誕生日なので二 コニコいたします。<山田(哲)> ●先日、日経新聞にも 載った「川越ガチャタマ」を回してみたら、なんと一発目 で山﨑会員の龜屋さんを引き当てることができました。<青 柳> ●早退3名(敬称略) 【合計 37,000 円】

卓 話

講師:中島 洋志 様

講師:中島 萌栞 様

テーマ: インターアクトクラブの活動について

■ 中島 洋志: 地区青少年奉仕委員会総括委員長 本日は、川越 RC の大切な時間に卓話をさ

せていただき、本当に嬉しく思っております。 まず、中島 萌栞さんを紹介します。所沢高校 との関係は、私が所沢東 RC の会長の時に、 青少年交換でフランスから来たデベ君を所沢 高校に受け入れていただいたことから始まり



ます。デベ君は、とってもやんちゃな子で、wifi や学校の施設 は使い放題など、本当に所沢高校全校生徒にご迷惑をお掛けし たインバウンドでした。その償いの意味もあり、当時の堤校長 先生、神谷先生、そして優秀な生徒であった中島 萌栞さん達 のお力をいただき、所沢高校にインターアクトクラブを設立さ せていただきました。インターアクトクラブの設立の経緯など については、後ほど、話の上手な中島萌栞さんからお話をさ せていただきます。

次に、地区の青少年奉仕事業について報告します。多くの事 業がコロナの影響で中止になるなか、青少年交換委員会では年 度初めに5名の交換派遣候補生を決定し、今日まで7回オリ エンテーションを実施しました。コロナが今後どうなるか分か りませんので、状況に応じ直ぐに帰国させることのできる台湾 に5名全員を派遣することにしました。 従いましてインバウン ドも台湾の生徒が 5 名来ますので、その際は是非、川越 RC の卓話に呼んでいただければ幸いに思います。

■ 中島 萌栞: インターアクター OG

私が17歳の1月に、所沢高校インターア クトクラブを設立させていただきました。そ こから2年間、初代代表として活動しました。 私は川越の石原町で生まれ、その後、自然に 囲まれた比企郡鳩山町で育ちました。この環 境の影響で、自分らしさを大切にする子供に



育ちました。そんな私は、校則が無く、制服の無い自由な雰囲 気の所沢高校への進学を選びました。しかしながら、暫くする と、どこか空っぽな気がして、自分がこの学校に来た意味って 何だろう、この学校に残せるものは何だろうと考えるようにな りました。そんな入学して半年ほど過ぎた学校行事のラグビー 大会の日に、クラスメートの女の子に話しかけられました。そ の子から「被災地でボランティアがしたい。何か役に立つこと がしたい。」と相談され、二人で意気投合しました。その女の 子が初代会計の工藤です。私と工藤は今までボランティアの経 験が無いし、被災地への人脈も無いため、それらに詳しそうな

地理の先生に相談することにしました。その先生から、今地域 の社長さんたちと所沢高校でボランティアや国際交流をする団 体を作ろうとしていることを教えてもらい、私と工藤でやって みないかと働きかけていただきました。その先生が今もインター アクトクラブの顧問をやっていただいている神谷先生です。正 直、自分にそんなことができるのかと思いましたが、ゼロから 自分の団体を作る、まだ自分の高校で誰もやったことのないこ とをやることに、すごくワクワクしたのを覚えています。神谷 先生が、あと一人入れたいと言って連れて来た男の子が小嶋で す。その後、初代書記の吉田と初代会員の井上と、更に2名が 加わり、インターアクトクラブは7名で活動を開始しました。

インターアクトクラブはどのように設立するのか、どのよう

な活動をするのか分からないので、皆でものすごく会議を重ね ました。私たちだから出来ることは何かということを考え、多 くの議論を重ねる中で、私たちが楽しいと思わないことはやら ない、「自分たちらしく、楽しく、世の中のためになること」 を私たちの活動の軸としようということになりました。私たち は個性の強いものの集まりのためメンバー間の軋轢もあり、代 表という責任を高校生で初めて背負うようになり、本当の意味 で良いリーダーって何だろう、皆にとってハッピーで活動しや すい団体ってどんな団体なのかを必死で考えるようになりまし た。当時はご飯も喉を通らないぐらい辛かったですが、今思う とあの日々が無ければ今の自分は無かった、今の自分を強くし てくれたと感じます。そんな団体作りの中で、リーダーとして 一つだけ心掛けたことがあります。それは、「所沢高校インター アクトクラブは誰かが一番ではなく、全員が主人公として活動 できる場所にする」ということです。それが、私のリーダーで ある意義だと思っていました。メンバーは、高校3年間とい う貴重な時間を私に預けてくれました。そんなかけがえのない メンバーの3年間を大切にして、最高の舞台を用意してあげた いというのが、当時のリーダーとしての私の想いでした。その ような活動を続ける中で、全員が同じ方向を向いて歩けるよう になりました。私たちは、2年生、3年生となり、後輩も入っ てきてメンバーも増えていきました。現在は、メンバーも 50 人弱と所沢高校の中でも指折りの大所帯に成長することができ ました。卒業後も私たちは年に一回は集まって所沢高校を訪問 し、OBとしてインターアクトクラブの指導にあたっています。 私は、インターアクトクラブを設立させていただいたことで、

ゼロから組織を作ることに興味を持つようになり起業を志すよ うになりました。現在の私は、武蔵野大学アントレプレナーシッ プ学部に入学し、次世代のリーダーとか起業を志す学友と切磋 琢磨して刺激し合える、とても充実した環境で毎日ワクワクし ながら学校に通っています。更にかけがえのない仲間や尊敬で きる先生たちと出会って、毎日自分が思い描く夢の実現のため に、世の中にもっと良いもの、もっと誰も見たことがないもの を生み出すために毎日挑戦しているのですが、理想と現実の狭 間に立たされ、自分の実力不足を思い知らされています。私は この学部に来て自分が世の中や未来を作っていく一員であると いう自覚を持てるようになりました。インターアクトクラブは、 私をすごく変えてくれました。今の私がいるのは、あの時のラ グビー大会で話しかけてくれた工藤を含むメンバーと、イン ターアクトクラブと私を繋いでくれた神谷先生、そして未熟な 私たちを温かく見守ってくださったロータリアンの皆さまのお 陰だと思っています。インターアクトクラブは、私の人生を確 実に変え、そして私は変えてもらった人生で多くの人の生活を 豊かにし、新しい明るい未来を作っていきたいと思っています。

最後に、私を変えていただいた親愛なるロータリアンの皆様 に、一つだけお願いがあります。私が皆様からチャンスをいた だいたように、どうか小さくてもいいので、チャンスを子供た ちにあげていただければと思います。それがどんなものであれ、 私がインターアクトクラブに人生を変えてもらったように、誰 かが変われる機会になるかも知れません。どうかよろしくお願 いいたします。

【編集担当:会報委員会 委員 小橋 誠】